

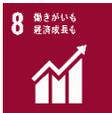
おだわら SDGs パートナーの活動概要と掲げるゴール

NO.	企業等名	取組概要	関連ゴール
1	NPO 法人 アール・ド・ヴィーヴル	<p>障がいのある人のアート活動を中心に、創作や表現活動の場を提供し、自己肯定感を育み、社会的な自立にむけ支援する組織です。活動の特長は、障害者就労支援B型事業所を運営し、利用者が創作した著作物を二次使用し、オフィスはじめ商業施設、病院、公共施設へ作品リースを行い、利用者自ら展示を請け負います。また、作品をモチーフとしたデザイン名刺の受注サービスも行っています。</p> <p>小田原市関連事業としては、ラグビーオーストラリアワラビーズ応援Tシャツの描き下ろしデザイン、パッカー車をワラビーズカラーにペイントしよう、ワラビーズ横断幕ペイントを企画し実施しました。さらに、オリパラに向け3年前より、スクランブルダンスワークショップを実施し、(文化政策課と共催)障害あるなしにかかわらず多様性を受け入れる社会を目指して、すべての人が自分らしさを追求できる活動を行っています。</p> <p>http://artdevivre-odawara.jp</p>	
2	アソー熱工業株式会社	<p>① 生活基盤のインフラ整備で安心して住み続けられるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設業の設備業者として、上下水道および都市ガス等の整備により、利便性が高く、地域住民の皆様にとって満足感のある快適な住環境を提供します。 ・空調事業による整備を行い、近年続いている猛暑などの環境下においても健康面を左右されず、地球にも人にもやさしい快適な環境づくりの提案を行います。 ・フロン R-22 の回収を推進及び実行することで、地球温暖化を防止し、未来を担う子ども達が安心して暮らせるような環境づくりに取り組みます。 <p>② 災害発生時の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害により生活基盤であるインフラが被害を受けた際、小田原市管工事協同組合の一員として災害復旧に迅速に対応し、安心・安全な地域社会の復興に努めます。 <p>③ 「歴史と文化のまち 小田原」を守り繁栄していくための活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各イベント・文化活動への支援・協賛を行い、地域住民の皆様には賑わいのある小田原の姿を魅せ続ける機会の提供に努めます。また小田原市外の住民の皆様には、 	

おだわら SDGs パートナーの活動概要と掲げるゴール

		<p>趣のある城下町や文化的で活気のある小田原へ興味を持っていただくことで、国内外問わず旅行者の増加及び小田原市内の居住人口の増加に貢献します。</p>	
3	FM 小田原株式会社	<p>FM おだわらは、小田原を元気にするメディアをコンセプトに、単なるラジオ局ではなく様々な人達と連携し、様々な団体を設立、様々な事業を実行してまいりました。これからの私たちは、今後ますます消費や労働人口の減少が顕著になる未来を見据えて、右肩上がり・経済一辺倒の考え方から今まで以上に「人・物・お金」を地域に循環させながら、持続可能な社会づくりへの発想・業態の転換が求められていると考えます。</p> <p>天地の中で生かされているという、人間の分度をわきまえながら、天地の恵みに感謝し、四季の彩りに心を和ませ、自然環境とも調和しながら、人と人との絆を大切にしたい心豊かな社会づくりを目指して活動しています。</p> <p>小田原柑橘倶楽部株式会社、(一社)小田原プロモーションフォーラム、(一社)小田原市観光協会、(一社)かながわ西観光コンベンションビューロー、神奈川 FM ネットワーク(14局) 幹事局、小田原環境志民ネットワークといったさまざまな団体と連携し地域に密着した街づくりプロデュース、プロモーション活動をしております。</p>	
4	大塚製薬株式会社 横浜支店	<p>大塚グループ(大塚製薬)は、CSR を事業と一体化したものであるとの認識を持ち、"Otsuka-peoplecreating new products for better health worldwide"の企業理念のもとで取組みを推進しています。大塚ホールディングスは 2016 年「国連グローバル・コンパクト」に署名しました。国連グローバル・コンパクトの 10 原則を支持するとともに、国連サミットで採択された「SDGs(持続的な開発目標)も視野に入れ、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。神奈川県においては、県との包括協定に基づき、①「未病を改善する」取組に関する事②健康増進に関する事③女性の活躍に関する事④教育の振興に関する事⑤子育て支援に関する事⑥災害対策に関する事⑦スポーツ振興に関する事⑧その他、県民サービスの向上・地域の活性化に関する事、について連携し、協力をしています。また県内に</p>	

おだわら SDGs パートナーの活動概要と掲げるゴール

		<p>おいてはかながわ SDGsパートナーに登録し、具体的な取組例として3-5について減酒啓発ポスターを作成し、県内関係各所への配布・啓示をしております。</p>	
5	小田原ガス株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・二酸化炭素の排出量が少ない、環境にやさしいクリーンなエネルギーである天然ガスの供給を行っています。 ・地域に根ざした都市ガス事業者として、お客様の生活基盤として都市ガスの安定供給を図るため、24時間365日迅速な対応ができる体制を構築しています。 ・お客様の安全・安心を守るため定期的にお客様宅を訪問し、お使いいただいているガス器具やガス管の点検を定期的の実施し、マイコンメーターを導入することで様々な異常を事前に感知し、保安の確保に努めています。 ・環境商材(エネファーム・エコジョーズ)を積極的に採用し、CO2の削減に努めるなどエネルギーをクリーンに使っていただくことにより、地域の環境保全活動に努めています。 	       
6	株式会社小田原機器	<p>当社は主にバスをはじめとする交通事業者に向けて決済・案内機器及びシステムを開発しています。近年の MaaS やキャッシュレス社会の進展を踏まえて、交通利用者にスムーズな交通利用を促す機器やシステムを提供しております。小田原市が取り組みを進めています「観光まちづくりの推進」に寄与し、地域経済全体の活性化に向けた取り組みを推進できるものと考えています。</p> <p>具体的な製品事例としては、決済関連製品としてインバウンド観光客のニーズが高い QR コードを用いた高速バス向け製品の実証実験を現在進めており好評を頂いております。また、案内関連製品としてバスロケーションシステムや運賃案内表示器・サイネージ等の機器を開発しており、バスや鉄道事業者との協調のうえ、交通案内システムの提供もしています。</p> <p>当社製品及びシステムを活用して、小田原市にいらした観光客に対してスムーズな移動サービスの実現ができ、SDGs における「働きがい・経済成長」の分野に貢献し</p>	 

おだわら SDGs パートナーの活動概要と掲げるゴール

		ていきたいと考えています。	
7	学校法人 三幸学園 小田原短期大学	<p>◆女性リーダーの育成</p> <p>女性が生涯安定した仕事に就き、専門職として自立できるよう、食物栄養学科では栄養士と栄養教諭を、保育学科では保育士と幼稚園教諭を養成しています。本学独自科目「おだたん人間成長講座」では、建学の精神の学長講話の中で、現代女性リーダーシップについて伝えています。女性リーダーの育成を期して、クラス委員長と学生自治会執行委員にリーダー研修を行っています。</p> <p>1.家庭の経済状況に関わらず質の高い教育が受けられるよう経済的支援をしています。入学時の特待生試験により、のびしろと意欲のある高校生を選抜し2年間に亘り授業料の一部を免除、2年生に向けては、本学独自の給付型奨学金の提供をしています。</p> <p>2.資格を生かして就職する学生は2019年3月卒業生全体で食物栄養学科77%、保育学科88%でした。資格を生かして就職した卒業生のためのリカレント教育として、栄養士スキルアップ講座と保育セミナーを実施しています。</p> <p>3.地域の中で学ぶ教育プログラムとして、幼児教室やおだたん広場の開催、また、両学科の学びを生かし、こども食堂や子育て支援センター等のボランティア活動に取り組み、小田原市と連携しています。</p>	
8	柏原総合環境会計事務所	<p>E:環境-S:社会-G:ガバナンス、SDGs 経営に関する専門サービスを次のように展開し、ESG/SDGs 経営の普及に尽力しています(8.4/9.4)。</p> <p>【 情報開示分野 】</p> <p>≫ ISO 審査機関と共に ESG 情報開示への第三者審査を担当</p> <p>≫ 制作会社と協力して ESG 情報開示に対する監修依頼などを金融機関～製造業～消費財まで幅広く対応</p> <p>【 マネジメントコンサルティング 】</p>	

おだわら SDGs パートナーの活動概要と掲げるゴール

		<p> ※ ESG/SDGs 経営の手法を駆使し持続可能性に貢献し得る企業体質への転換を支援 ※ 環境会計／管理会計の手法、優遇税制や補助金の手法、を応用して資源利用効率の向上と環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を支援 【 地域連携・教育分野 】 専門サービスの知見を活かして地域企業に ESG/SDGsを浸透させるように、自治体関連と連携し、特に教育分野で貢献しています(4.7/17.17)。 ※ 横浜市立大学における「ISO 品質／環境」の指導 ※ 横浜型地域貢献企業に認定された企業への啓発活動と研修 ※ 東京都職業能力開発協会において「経営分析研修」を担当 ※ 他地域で蓄積してきたノウハウでおだわら SDGs に貢献 </p>	
9	有限会社川田製作所	<p>SDGs に関わる下記3つの取組みを行っています。</p> <p>ダイバーシティ雇用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・30年以上に及ぶ障害者雇用に取り組んでおり、障害者雇用率は30%を達成しています。 ・高齢者の雇用環境の整備に努めており、社員の最高齢は、77歳です。 ・外国人の雇用にも取り組んでおり、外国籍の社員は3名います。 ・女性活躍を推進しており、製造技術者としての女性が活躍中です。 <p>職場環境の整備 (ワークライフバランス・働き方改革)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残業時間の削減に取り組んでおり、平均残業時間は、月2時間未満です。 ・有給休暇の取得を促しており、有給取得率は100%です。 <p>モノづくりの革新</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロボット、3D-CAD 等の新技術の積極的活用を進めています。 ・IT 経営の実践にも取り組んでいます。 <p>※令和元年時点でのデータです。</p>	 <p> 5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう 12 つくる責任 つかう責任 </p>

おだわら SDGs パートナーの活動概要と掲げるゴール

<p style="text-align: center;">10</p>	<p style="text-align: center;">独立行政法人 国立印刷局 小田原工場</p>	<p>独立行政法人国立印刷局小田原工場「環境方針」を策定し、基本理念及び環境行動指針に基づき、取り組んでいます。なお、具体的な取組は次のとおりです。</p> <p>【環境方針】</p> <p>①環境に配慮した事業活動に取り組めます。 ②省資源、省エネルギーに取り組めます。 ③産業廃棄物の削減とリサイクル化の向上に取り組めます。 ④太陽光発電等、持続可能な資源の利用による環境保護に取り組めます。 ⑤環境教育を積極的に推進し、全職員の環境意識向上に取り組めます。</p> <p>【具体的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ISO14001:2015 を取得し、環境マネジメントシステムに基づく環境目標の達成に取り組んでいます。 ・電気、燃料のエネルギーの使用については、太陽光発電やLED照明の導入により、使用量の削減を行い、省エネルギーに取り組んでいます。 ・工場で発生するゴミの分別やリサイクルを行い、廃棄物発生量の削減を図っています。 ・工場排水に関する基準を遵守しています。 ・全職員が工場周辺の美化清掃を年4回実施しています。 	
<p style="text-align: center;">11</p>	<p style="text-align: center;">さがみ信用金庫</p>	<p>当金庫は地域金融機関として、地域の持続可能な発展のため各種事業に取り組んでいます。また、地域やお客さまの課題解決のため、Face to Face により信頼関係を築き、金融面のみならず、あらゆる面でサポートさせていただき、お客さまにより便利なサービスをご提供できるよう活動しています。</p> <p>このような中、環境への配慮も大切にし、『環境宣言』に掲げた理念・方針の実現に向け、環境配慮型の金融商品の取り扱いや太陽光パネルの店舗設置など、事業を通じた環境保全への取り組みを推進しています。</p> <p>SDGsは、当金庫の企業理念である「地域社会との共生」「豊かさへの貢献」に相通</p>	

おだわら SDGs パートナーの活動概要と掲げるゴール

		<p>じるものであることから、SDGsの精神に賛同し、地域のパートナーと共に経済・社会・環境の持続的な発展に寄与するよう活動していきます。</p>	
12	株式会社 JS フードシステム	<p>JS フードシステムは運営している飲食店全店舗でこれまで使用していたプラスチックストローを廃止し、紙ストローを使用する取組を 2019 年 2 月より行っています。プラスチックストローは、海洋汚染の原因の一つとなっています。</p> <p>代替として環境にやさしい紙ストローを使用することにより、微力ではありますが、世界の海洋汚染が軽減されるよう取り組んでおります。</p> <p>一つ当たりのストローのコストは 4 倍近くになりますが、中小企業の飲食店でも出来る SDGs への取組のキッカケとして周知されればと考えております。</p>	
13	社会福祉法人 小田原福祉会 高齢者総合福祉施設 潤生園	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職員初任者・同実務者研修を実施し、福祉の担い手づくり(高齢者含む)を行っています。 ・神奈川県社協のかながわライフサポート事業に参加し、生活困窮者等に対する支援を行っており、貧困対策にも力を入れています。 ・主に独居老人宅に食事を配達するとともに、小田原市の「食の自立支援事業」に協力しています。 ・施設内に地域の方が自由に利用できるスペースを設置。また、夏祭り等で地域との交流を図ることでまちの活性化に努めています。 ・福祉有償運送事業を地域の高齢者に対して行っています。また、高齢者の生活・介護全般に関する相談対応と「足湯」を設置して憩いの場を提供しています。さらには、毎週定期的に、当法人施設からショッピングモールまで無料のバスを地域住民のために運行しており、暮らしやすいまちづくりにも取り組んでいます。 	

おだわら SDGs パートナーの活動概要と掲げるゴール

		<ul style="list-style-type: none"> 株式会社湘南電力が行う神奈川県「地域電力供給システム整備事業」に協力し、3か所の施設に太陽光発電設備を設置した。神奈川県における再生可能エネルギーの普及およびエネルギーの地産地消の推進に協力しています。 	
14	湘南電力株式会社	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーの利用促進によるエネルギーの地産地消に取り組んでいます。 蓄電池を利用したエネルギーマネジメントを行い、再生可能エネルギーの有効活用を行っています。 神奈川県内のお客様に、神奈川県内で発電された再生可能エネルギーを優先的に供給しています。 低圧電力の売上の一部を地域に還元しながら地域内循環を行っています。 株式会社 REXVE と協力し、再生可能エネルギーを電源とした EV シェアリングに取り組み始めています。 	
15	西湘ガス産業株式会社	<ul style="list-style-type: none"> 日々の生活を送るうえで必要不可欠であるエネルギー（プロパンガス）をいつでも身近に使えるように供給体制を整えています。 災害に強いプロパンガスの特性を生かし、万が一大きな災害が発生した場合であっても、迅速な復旧ができる体制を整え、地域の皆様に安心してガスを使っていただく体制を整えています。 環境商材（エネファーム・エコジョーズ）を積極的に採用し、CO2 の削減に努めるなどエネルギーをクリーンに使っていただくことにより、地域の環境保全活動に努めています。 	
16	株式会社せりざわたけし工務店	<ul style="list-style-type: none"> ○小田原城内各保存修理 ○社寺・数寄屋工事等 <p>天守閣リニューアルの際、久野の辻村山林で、約300年育ってきた木を遣い、将軍柱を立てる仕事をしたが、それ以外にもヒノキ、杉など地域の材をできるだけ遣っています。地域にある材を街の中で有意義に使えれば、山もまた生き生きと喜んでくれ</p>	

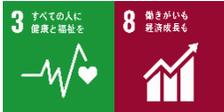
おだわら SDGs パートナーの活動概要と掲げるゴール

		<p>ます。</p> <p>家を建てる仕事というのは、古いモノを大事にすることです。その根源には、先人たちが千年にわたり伝えてきた技があります。その軸を大切に次の世代へ繋げていくことが私たちの役目と考えています。</p>	
<p style="text-align: center;">17</p>	<p style="text-align: center;">大和リース株式会社 横浜支店</p>	<p>1. 環境保全</p> <p>地域資源をムダなく繰り返し使用するリースシステムを活かし、資源循環に取り組みます。</p> <p>当社のプレハブ商品にはZEB Ready対応モデルがございます。これは50%省エネを実現したものです。このような建物の省エネ設計、省エネ性能の高い商材の提供に努め、脱炭素社会の実現に貢献します。</p> <p>2. 安全安心な暮らし</p> <p>当社の開発する商業施設は地域と融合した施設を目指し、防災・活動の拠点と致します。そのため、防災イベントを開催するなど地域団体と連携したイベントを開催しています。</p> <p>3. 地方創生</p> <p>当社が開発する商業施設等で、地域社会・NPOと共に推進する地域の交流と活動拠点「まちづくりスポット」では、住民とNPO、企業が協働し、少子高齢化や過疎化など、社会をとりまく課題の解決と地域コミュニティを活性化するイベントを開催しています。まちづくりスポットは地域活性化と課題解決に貢献しています。</p> <p>4. 海外展開</p> <p>当社のプレハブ商品は非常時の応急仮設住宅や仮設校舎、現場事務所に幅広く活用されています。東日本大震災の際にも多くの仮設住宅を提供させて頂きました。このノウハウ、経験は国内のみならず海外でも通用すると考えています。</p>	

おだわら SDGs パートナーの活動概要と掲げるゴール

18	株式会社タウンニュース社 小田原支社	当社が発行する「タウンニュース」等で、読者(地域住民)に有益な情報を提供します。また、報道を通して、まちづくり・地域行政への意識の啓発を図り、地域としての広告を通して地域の利便性向上と企業の発展に寄与します。	
19	竹広林業株式会社	【豊かな森を次の世代に引き継ぐ】為に、地域の森林資源を主体とした森林に子供や消費者と森に入りその必要性を学びます。森の恵みである木材を小木工や家や建築物の設えに使い暮らしや住まいで木材利用を促進し、伐採した余地に生育に半世紀以上時間が必要な木を植林し育て次なる木材利用に備えます。量的に満たされた森林において日光が入らなく下草が生えない質的荒廃した森を明るく豊かな森にして守ることを持続的に行う「顔の見える感動の小さな森活動」(森林体験・木育活動・地域材活用の家づくり・様々なプラスチック製品から木製品へ未利用分野の企画・開発・森・里・海・木・匠・文化の各種イベント)を川上～川中～川下の関連団体と連携で活動しています。	
20	東京電力パワーグリッド株式会社 小田原支社	<p>◎電気自動車の導入に加えたカーシェアリングの促進による脱炭素化ならびに非常災害時における電力確保の迅速化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気自動車の導入に加えたカーシェアリングの促進(脱炭素化) <p>当社は 2030 年までに全業務車両を電気自動車(EV)へ入替する取組を展開しています。</p> <p>また、小田原市内におけるEV化、ならびにシェアリングを促進するため、充電ステーションの設置やエネルギーマネジメントなど、当社が持つノウハウを活かした包括的な取組の展開により、脱炭素化社会の実現に貢献します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常災害時における電力確保の迅速化 <p>非常災害が発生した場合、重要設備や避難所などの救済に向け、EVをスポット的に利用できる環境構築や運用技術の展開により、電力確保の迅速化に貢献します。</p>	

おだわら SDGs パートナーの活動概要と掲げるゴール

21	有限会社西村モータース	<p>日々進化を続ける車の最新技術に対して、いち早く修得し、また最新の設備を導入してどんな車でもどんなトラブルにも対応できるよう心掛けています。その一方、古い車を長く大切にお乗りいただけるように適切な定期点検整備や予防整備に力を入れ、常に良いコンディションでいつまでも乗ることができるように、「20年20万キロ走らせます！」を合言葉に取り組んでいます。</p>	
22	日本新薬株式会社 小田原総合製剤工場	<p>日本新薬は、事業そのものを通じて「3.すべての人に健康と福祉を」の実現を目指します。また、確固たるガバナンスや社内体制の整備、ISO14001の継続更新および環境に対する企業ポリシー、ホワイト500の認定などから、ほとんどのゴールを目標として活動してまいります。</p> <p>SDGsにまつわる主な活動の詳細は、以下をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・化学物質取扱に関する安全衛生管理規定を制定し、適正な管理・運用 ・排水処理装置設置や排水基準の自主管理による適正管理 ・産業廃棄物のリサイクル化や分別回収の徹底による適正廃棄 ・エネルギー効率の高い設備やLEDの導入等、省エネ化の推進 ・様々な社会貢献活動(硬式野球部OBによる少年少女野球教室、中学生の体験学習、工場周辺清掃、酒匂川清掃、きらきら未来こども募金、子供文学賞絵本の配布、地域環境団体協力「たんぼの恵を感じる会、めだかサポーターの会」など) 	
23	一般社団法人 日本リカバリー協会	<p>2004年の文科省疲労研究班「わが国の疲労の統計」によると就労者の56%が疲労を抱えながら日々の生活を送っていると報告しています。「疲労」は、「痛み」「発熱」と並び病気になる前の身体からの危険信号としてといわれています。この疲労対策を目的とした休養回復に関する取り組みとして、レクリエーションや体操などが古典的に取り入れられてきたところですが、近年のデジタル社会の急速な発展に伴い、既存のあるいは古典的なリカバリーだけでは追いつけずに取り残されてしまう社会的弱者を産み出してしまっています。</p> <p>これに歯止めをかけるための情報発信事業を行い、人々が元気でさらに生き活きと</p>	

おだわら SDGs パートナーの活動概要と掲げるゴール

		<p>活力をもって生活するための情報発信を目指しています。</p> <p>1. 未整備のリカバリー関連情報の収集のために各分野のアカデミアや学会・研究会等との連携。2. 協会内部にて情報を集約・整理。3. 情報を様々な形で社会へアウトプット。</p>	
24	はなまる農園	<p>はなまる農園では、農薬・化学肥料を一切使わない有機農法で生産物の価値を上げて生産者の利益を確保しながら、中間業者を省くことで最終的な売値を他商品と差が出ないようにしています。また、農園にレストランを併設するなど6次産業化にも取り組んでいます。野菜の旬を理解し、無理せず自然に育てること、また多少見た目は劣っても自然に育った美味しい野菜や果物を消費してもらうことにより、無駄なエネルギーの消費や農産物の3分の1が廃棄になってしまっている現状を変えられはらず。そうした想いを胸に抱き、農作物そのものでも加工品でも、地産地消の仕組みを通じてひとにも自然にもやさしい農業を実践しています。</p>	
25	Hamee 株式会社	<p>Hamee では、電子商取引 (EC) 市場におけるインフラづくりに取り組んでいます。</p> <p>■ ネットショップ業務自動化システム「ネクストエンジン」の開発・提供 受注処理、在庫管理、発送作業など、ネットショップ運営業者が抱える煩雑なバックオフィス業務の自動化を目的に、自社の EC ノウハウを活かしたシステム「ネクストエンジン」を開発・提供しています。2019 年 10 月 31 日現在の総契約数は 3790 社、登録店舗数は 29,376 店舗となっています。また、会計ソフトとの連携や越境 EC への対応強化、データを活かした売上支援サービスなど、システムの進化・成長を図っています。</p> <p>■ ふるさと納税支援事業サービス 全国の自治体が展開する「ふるさと納税事業」を対象に、上記システム「ネクストエンジン」を活用した業務サポートや、ファン・リピーターづくりのサポートなど、ふるさと納税事業の総合支援に取り組んでいます。</p> <p>今後も加速し続ける EC 市場において、一層強靱で質の高いインフラ整備に務めて</p>	

おだわら SDGs パートナーの活動概要と掲げるゴール

		<p>まいります。</p>	
<p>26</p>	<p>株式会社日立システムズ</p>	<p>日立システムズは、価値協創を通じたデジタルイノベーションを推進し持続可能な社会の実現に貢献します。</p> <p>○健康で安心して暮らせる社会の実現に向けて 声から心の健康を手軽にチェックできる「音声こころ分析サービス」や、疲労やストレスの早期ケアにつなげる「疲労・ストレス測定システム」等を開発・提供。</p> <p>○持続可能なエネルギー社会の実現に向けて モンゴルで農地における電力生産とCO2削減に大きく貢献するソーラーシェアリングプロジェクトでの運用管理システム提供等、お客様との協創により様々な再生可能エネルギープロジェクトに参画。</p> <p>○未来の社会を支える次世代人財を育成 点字図書館・録音図書データのインターネット配信・管理システム「サピエ」が、将来にわたり安定稼働できるよう新たなクラウドシステムを提案・構築。視覚障がい者の学びの機会の維持・向上に貢献。また、中高生の企業訪問を受け入れ、対話を通じて「社会との関わり方」や「働く意義や喜び」を伝えています。</p> <p>○多様な人財が多様な価値観を持っていきいきと活躍できるように 働き方改革・健康経営・ダイバーシティを統合的に推進する「SMILE Work[∞]Life Action」を展開。柔軟な働き方の拡大、企業活力向上や生産性向上の実現をめざします。</p>	 <p>The image displays 11 icons representing various Sustainable Development Goals (SDGs):</p> <ul style="list-style-type: none"> 3: Good Health and Well-being (Heart and pulse line) 4: Quality Education (Open book and pencil) 5: Gender Equality (Gender symbols) 7: Affordable and Clean Energy (Sun with power symbol) 8: Decent Work and Economic Growth (Bar chart with upward arrow) 9: Industry, Innovation and Infrastructure (Gears and cubes) 11: Sustainable Cities and Communities (City buildings) 12: Responsible Consumption and Production (Circular arrows) 13: Climate Action (Globe with flame) 17: Partnerships for Goal Achievement (Interlocking circles)

おだわら SDGs パートナーの活動概要と掲げるゴール

27	富士ボトリング株式会社	<p>弊社はリターナブル瓶飲料専門の製造会社です。(皆様が冠婚葬祭場やホテル・旅館等でお手にするウーロン茶やジュース、炭酸、ミネラルウォーターです)近年ペットボトルやプラスチックの使用/廃棄等が大きな環境問題となっている中、リターナブル瓶飲料はSDGsの12番の作る責任に大きく貢献でき得る徹底した3Rそのものを達成する商品と自負しております。</p> <p>*リターナブル瓶飲料とは: 容器は繰り返し使える瓶で(15~20回以上)またラベルはACL(瓶に印刷)されプラスチック/紙ラベルの使用が不要です!</p> <p>*更に環境貢献度が高いのは: 出荷時に製品を包装する段ボール等の包装材料も一斎不要で、P箱(40年以上繰り返し使える)を使用しています。</p> <p>*容器のガラス瓶⇒ガラスへ王冠⇒金属へ、ほぼ完全リサイクルしています。</p> <p>まさにSDGsのゴールを目指す社会にとって、ペットボトルを使用しない飲料であり、包装材料不要でCO2削減/廃棄も不要、容器/資材は3R(繰り返し使う!ゴミにしない!再生する!)の環境配慮に則した商品を作っており、今では国内では希少稀となるリターナブル瓶飲料の専門工場が地元にあることを広く知って頂き、皆様と共にSDGsの更なるゴールを目指し、地産地消のような販売ループ/ツール等を築いて参りたいと願っている企業です。</p>	 <p>12 つくる責任 つかう責任</p> <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p> <p>14 海の豊かさを 守ろう</p> <p>15 陸の豊かさも 守ろう</p> <p>17 パートナシップで 目標を達成しよう</p>
28	株式会社古川	<p>誰もが使えるクリーンなエネルギーを提供いたします。</p> <p>化石燃料であるLPガスの供給をする傍ら、エネルギー消費の少ない高効率機器等の提案と施工を実施することでCO2の排出量を減らします。</p> <p>住宅事業では高い断熱性とエネルギーコントロールを両立させた高耐震ZEH住宅を建築するとともに、そのノウハウを生かした断熱リフォーム提案により、家庭のエネルギー効率を今まで以上に高めていきます。</p> <p>また太陽光発電システムを、提案から販売施工まで手掛け、多くの人々にお求めやすい価格でご提供するとともに、自社によるメガソーラー発電所を運営するなど、再生可能エネルギー利用促進にも努めています。</p>	 <p>6 安全な水とトイレ を世界中に</p> <p>7 エネルギーもみんなに そしてクリーンに</p> <p>8 働きがいも 経済成長も</p> <p>11 住み続けられる まちづくりを</p> <p>12 つくる責任 つかう責任</p> <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p> <p>17 パートナシップで 目標を達成しよう</p>

おだわら SDGs パートナーの活動概要と掲げるゴール

		<p>エネルギー以外では、生活に関わる飲料水事業を推進しています。水の製造から配達、空ボトルの回収をまでを一つの流れとし、ご家庭に安全でおいしいお水をお届けしております。空ボトルを回収再利用するリターナルボトル方式をとることで、プラスチックゴミを極力少なくすることができ、海洋汚染抑制にもつながっています。</p> <p>(株)古川では人々の生活を豊かに、そして安心して暮らせる生活提案を持続させる、「やりがい」のある職場として、常に新しい仲間をを募集してまいります。</p>	
29	ほうとくエネルギー株式会社	<p>ほうとくエネルギー株式会社は、地域のエネルギーを自分たちで創ることを目標に、小田原を中心とした地元企業が出資した発電会社です。現在、市民出資などを活用し、2Mw の太陽光発電所が稼働しており、ここで発電した地産エネルギーを地域の電気小売事業者である「湘南電力」へ卸しています。エネルギーの地産地消を目指しています。</p>	
30	報徳仕法株式会社・株式会社報徳会館	<p>【小田原のまちづくり推譲事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農商工連携を促進・小田原の地域活性化・小田原ブランド構築の一助 ・地元で栽培されている柑橘類の仕入れ、加工業務 ・耕作放棄地の再生業務 	
31	株式会社ミクニ 小田原事業所	<p>環境に配慮した自動車関連製品の設計・開発</p> <p>LCA(Life Cycle Assessment) の考えをもとに燃費向上、軽量化、省エネ、排ガス向上、CO2削減及び製品プラットフォーム推進等により製品製造時の省エネルギー化、製造の容易性等をグリーン設計活動として実施しました。またグリーン調達では、製品に使用されている環境負荷物質の削減・全廃を目標設定し取り組んでいます。</p>	

おだわら SDGs パートナーの活動概要と掲げるゴール

			
32	三井住友海上火災保険株式会社	<p>■ 中小企業に対して専門性の高い支援を行う事業者として、2013年6月に、保険業界で初めて、国が運営する「経営革新等支援機関」に認定されました。中堅・中小企業を対象とする無料会員制組織「三井住友海上経営サポートセンター」を設置し、人事労務・事業承継・海外進出をはじめ各種相談にお応えしています。</p> <p>■ 社会に貢献する自動車保険 交通事故の不安解消に向けて、ドライブレコーダーの普及を推進するとともに、神奈川県警とタイアップしたチラシを作成し、普及啓発に努めることで、安全・安心なまちづくりに寄与しています。</p>	     
33	三菱ケミカルハイテクニカ株式会社 小田原テクノセンター	<ul style="list-style-type: none"> LED製品の主要部材である「蛍光体」の製造を通じてエネルギー効率の向上に繋がるLED照明の普及促進に寄与しています。 小田原テクノセンター内における照明の「LED化」を進め、電力使用量を削減しています。 クリーンエネルギー設備として、小田原テクノセンター内に太陽電池パネルを設置し電力会社へ供給しています。 ボイラーの運転効率改善により省エネルギー化を推進しています。 	   
34	Meiji Seika ファルマ株式会社 小田原工場	<p>明治グループは、CSR2026ビジョンを策定し、食と健康のプロフェッショナルとして事業を通じた社会課題の解決に貢献し、人々が健康で安心して暮らせる「持続可能な社会の実現」を目指しております。</p> <p>Meiji Seikaファルマ株式会社小田原工場では主な活動として以下の取り組みを行って参ります。</p> <p>①生命関連企業として安定供給体制に取り組み、医薬品提供の責務を果たします。</p>	       

おだわら SDGs パートナーの活動概要と掲げるゴール

		<p>②壁の断熱塗装、LED化などによるCO2排出量の削減を図ります。</p> <p>③製品の収率向上による廃棄物削減を確実に実行します。</p> <p>④巡視による漏洩・ムダの発見・改善による取水量の削減をいたします。</p> <p>⑤酒匂川河川清掃による地域生物多様性活動を行います。</p> <p>⑥障がい者雇用に積極的に取り組み法定雇用率達成を目指します。</p> <p>⑦危険体感教育による安全活動の推進を行います。</p> <p>⑧サステナビリティアンケートを実施し従業員の意識向上に努めます。</p>	
35	株式会社横浜銀行 小田原支店	<p>◆湘南電力等が供給する再生可能エネルギーを地域の取引先を中心に普及促進していきます。【ゴール⑦】</p> <p>◆地域の産業基盤を支えている企業の事業承継支援や、新たな経済活動の創出につながる起業・創業を支援するセミナー等の開催により、地域経済の成長を支えていきます。【ゴール⑧、⑨】</p> <p>◆鬼柳・桑原地区工業団地整備事業等への協力を通じ、良質で安定した仕事を創り出し、人口流入、暮らしやすい地域づくり、地域の活性化の好循環の維持をめざしていきます。【ゴール⑪】</p>	   
36	小田原ウイメンプラス	<p>小田原で活動する女性リーダーの活躍推進コミュニティです。2018年11月結成し、会員数は84名(令和元年時点)です。「+SMILE」「+LIFE」「+WORK」を合言葉に、小田原で活躍する女性リーダーたちの親睦、生き方&ビジネス応援、情報交換、情報発信、社会還元を行っています。バリアフリーマップ、和の心を伝える会など、社会福祉や文化活動団体とのネットワークにより、女性参画の機会確保に努めています。</p>	 
37	NPO 法人 チルドリン	<p>チルドリンの活動理念は『森との共創・美しいエネルギー・新鮮なおやさい・コミュニケーション』。この4つの柱を軸に進化してきました。暮らしに取り入れられるシンプルなSDGsの学びを深め、有事の際にも活かせる『Childrinレジリエンス』とし、地域ママたちと『ママと子どもの暮らしのSDGs』を共有できる場づくりを目指します。</p>	   

おだわら SDGs パートナーの活動概要と掲げるゴール

■森のママまつり／2013年に「ママのチカラで日本の森を元気に」というテーマでスタート。企業や大学と連携し、座学、フィールドワーク、イベントを通じて間伐材の利用促進、地域材の活用などの啓発を実施しています。

■エネママまつり／電力自由化施行の2年前よりスタート。「エネルギーをママが考えたらこんなに楽しくなる」を掲げ、学習会、講演、イベントを開催しています。ワークショップ「エネママカフェ」は、城山中学校の総合学習授業でも行いました。

■クールチョイスイベント「つむGO」
松田町に於いて「地産地消」「エコな暮らし」の啓発事業を展開し、家庭でできる「賢い選択」を考える場づくりをしました。

■ママと子どもの暮らしのSDGs 学びの森のママまつり／2019年12月8日に東京本部主催のイベントをキックオフしました。地元企業、団体、学校などと連携し、多彩で楽しいコンテンツを用意、気軽にアクションできるSDGsを伝えていきます。
上記以外に「キャンパスママまつり(大学連携)」なども開催しています。まずは、私たちは、私たちの置かれた現状を『知るコト』から。その『知るコト』の人を増やすことだけで、SDGsにみえてくる未来があるとチルドリンは考えています。

